

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ラベージ VI	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.514	△RG	0.052	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

ポリッシュ

PAPからピンとの距離

インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ラベージ V

フレアーの幅 インチ

表面加工

箱出し状態

加工

ペーパー

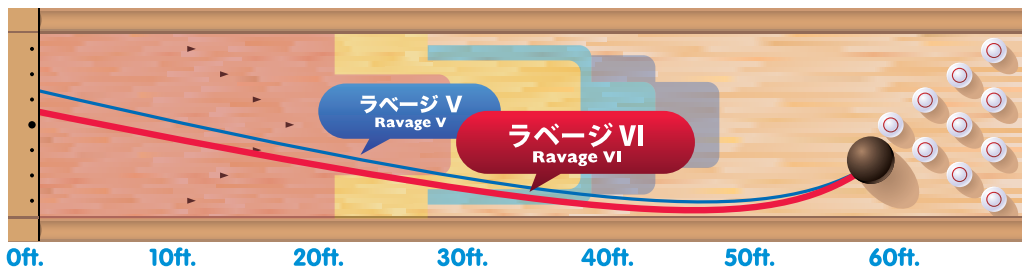
ポリッシュ

PAPからピンとの距離

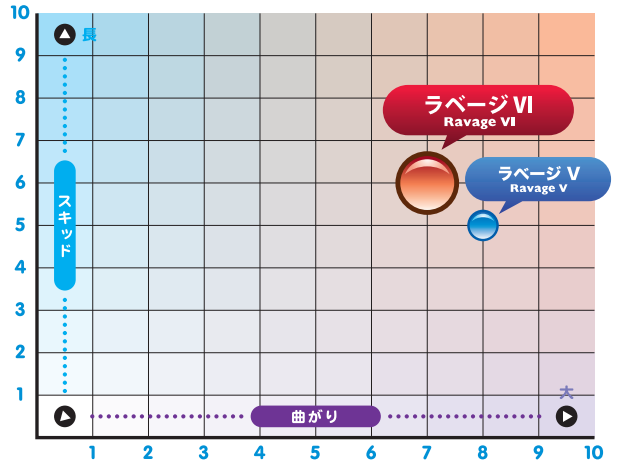
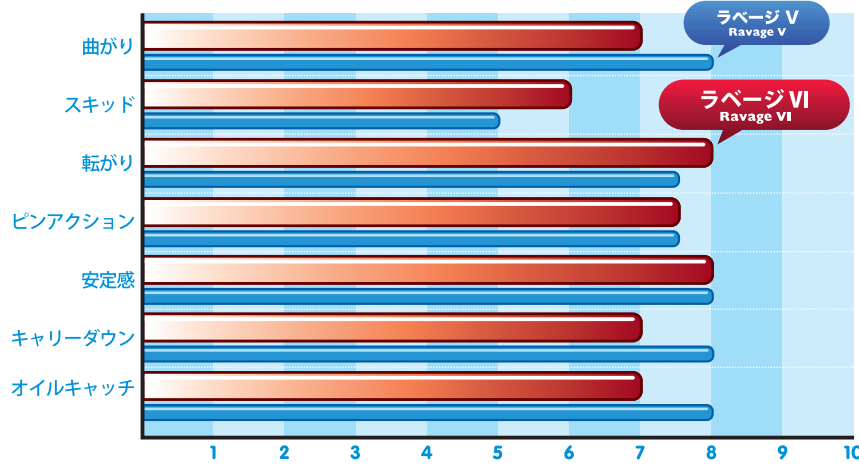
インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	Light Oil	Light to Medium	Medium Oil	Medium to Heavy	Heavy Oil	バックエンドリアクション	Smooth	Smooth to Arc	Arc	Arc to Sharp	Sharp Angle	レンジス	Early Roll	Early to Med	Med-Lane	Med to Late	Late Roll
------------	-----------	-----------------	------------	-----------------	-----------	--------------	--------	---------------	-----	--------------	-------------	------	------------	--------------	----------	-------------	-----------

ボールの評価

フリップブロックコア＝切れる！という定説を裏切らないラベージシリーズ最新作ラベージ VI の発売です。このラベージ VI はコアこそ違えど、当時爆発的な人気で大ヒットを遂げた WMB III と同じプレミアム・ハイブリッドカバーストックを採用しています。WMB III の人気の所以は使用できるコンディションの幅広さと安定したキャッチ力、ポテンシャルの持続性でした。私たち開発チームは、フリップブロックのコアを使用しバックエンドでの激しいリアクションを求めながらもスキッドの中にキャッチ力を求め、バックエンドまでエネルギーを蓄えられる組み合わせを模索しテストし続けてきました。オイルに弱くなく、それでいてバックエンドで激しく反応してくれるポテンシャルを得るために、コアの数値を見直しながら幅広いコンディションで使用できるボールがこのラベージ VI です。

投球したイメージは **ドライゾーンでの反応が良い為か、当たった瞬間にボールは左に向こうとします。オイルを長く使うと過激さは増す傾向になり、ラベージシリーズの名を継承するに相応しいバックエンドリアクションを堪能することが出来ます。** その過激さにラベージシリーズのファンの方も多いと思います。配色はブラックソリッドでマーキングは白と赤。配色的には派手さはないものの、そのポテンシャルで派手さを味わえることが出来るでしょう。しっかりと転がり、角の出るリアクションを是非お試しください。

特記事項

ラベージシリーズ最新作は、幅広いコンディションで使用でき、しかもが過激なリアクションを得られる仕上がりです。